Creative Enzymes®

ラミー脱ゴム用ペクチナーゼ

Cat. No. NATC-206

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この製品は、優れた細菌株であるアスペルギルス・ニガーによって精製されたペクチナーゼ酵素製剤であり、深層液体発酵と超濾過のプロセスを通じて製造されています。これは、植物の繊維以外のペクチンやその他の物質を迅速かつ確実に分解し、粘度を迅速に低下させることができます。また、澄明化を促進し、超濾過を改善します。
用途	ペクチナーゼは、さまざまな酵素で構成された複□な酵素系を通じてペクチンを分解します。主な成分は以下の通りです： 1. プロトペクチナーゼ：不溶性プロトペクチンを水溶性ペクチンに加水分解し、ポリメトキシガラクツロン酸とアラビノースの間の化学結合を切断します。 2. ポリガラクツロン酸分解酵素：この酵素はペクチン酸のα-1,4グリコシド結合を切断し、ポリガラクツロン酸鎖の加水分解を促進します。加水分解メカニズムに基づき、外因性ポリガラクツロン酸分解酵素（exo-PG1, EC 3.2.1.67; exo-PG2, EC 3.2.1.82）と内因性ポリガラクツロン酸分解酵素（endo-PG, EC 3.2.1.15）の2種類に分けられます。内因性酵素は分子内のα-1,4結合をランダムに加水分解し、ペクチンまたはペクチン酸の粘度を迅速に低下させる一方、外因性酵素は分子の端からα-1,4結合を順次加水分解し、ガラクツロン酸を生成します。 3. リアーゼ：トランス脱離を通じてペクチンポリマーを切断し、C-4位置でグリコシド結合を切断し、C-5で水素原子を除去して不飽和生成物を生成します。内因性ペクテートリアーゼ（endo-PGL, EC 4.2.2.2）、外因性ペクテートリアーゼ（exo-PGL, EC 4.2.2.9）、内因性ペクチンリアーゼ（endo-PL, EC 4.2.2.10）、および内因性ポリメチルガラクツロン酸分解酵素（endo-PMG）が含まれます。 4. ペクチンエステラーゼ（EC 3.1.1.11）：水溶性ペクチン分子内のメトキシ基とガラクツロン酸の間のエステル結合をランダムに除去し、メタノールと遊離カルボキシル基を生成します。 この製品は、さまざまな酵素系の間で良好な相乗効果を示し、ペクチンや植物中の他の物質（繊維を除く）を迅速に分解し、粘度を迅速に低下させ、同時に明確化を促進し、超濾過を改善します。

製品情報

由来	アスペルギルス・ニガー
外□	淡い黄褐色の液体。
形態	液体
最適pH	3.3-4.0
最適温度	50-60°C

保管・発送情報

保存方法	この製品は活性生物剤であり、輸送および保管プロセスは暗く、低温で、乾燥しており、通気性があるべきです。